

令和2年2月20日

釧路信用組合

第9回 経営審査会議の概要について

当組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営審査会議」を設置しております。外部有識者より経営全般について助言・提言を受け、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日「第9回経営審査会議」を開催致しましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

記

1. 日時 令和2年2月5日（水） 15時～16時25分

2. 場所 釧路信用組合 本店4階 役員会議室

3. 出席者

(経営審査委員)

尾崎 泰文 (釧路公立大学経済学部 教授)

藁島 弘幸 (稲沢法律事務所 弁護士)

(事務局)

忠村 浩志 (理事長)

小西 卓哉 (常務理事)

山口 潤 (常務理事)

堀 充利 (常勤監事)

寺崎 俊明 (総務部長)

4. 忠村理事長の資料説明要旨

○平成31年度仮決算状況、第2次経営強化計画の履行状況について説明。また、前回の会議で委員から提言のあった事項における取組の状況についても述べました。尚、1名欠員となっていた本審査会議の委員の補充についても併せて説明しました。

5. 経営全般についての意見交換

(1) 出席者から頂いた助言・提言等

- 上部団体の監査の際に、基礎的収益力の脆弱化という指摘を受けているとしたら、何かもう一工夫が必要であり、法人として継続して行くための基礎を築くために何かの方法を考えなければならない。
- 中小企業の経営者はどうしてもワンマンになりがちで、分析結果などを提示しても、一蹴されてしまうようという話も聞いたことがある。都会であれば未だしも、事業性評価を行い、しっかりとした提案をして行くのは、地域柄難しい面も多い。
- 従来取引があった先から、次には取引なかった新規先へと輪を広げて行く活動を目指してきたと思うが、たとえば、既存先の繋がりから新規の取引に話しをすることが出来た先数、更に一步進んで融資に繋がった先数など、具体的にこの活動内容を数値で把握する事が必要。
- 大規模な会場でのイベント、展示会などに参加してもビジネスマッチングはなかなか成功しないという話も聞く。それであれば、蓄積している情報を上手く行かした方が良い。
- ローンプラザを開設されたようだが、昨今はローンプラザについては全国的には徐々に数を減らしている状況。事例やノウハウの蓄積が必要。

(2) 忠村理事長からの回答

○多くの貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。いただいたご意見は、内部で精査し、これから取りまとめる第3次経営強化計画に盛り込んで行きたいと考えております。

本日は、長時間に亘り、ありがとうございました。

以上